

学校経営推進費 評価報告書（２年め）

１．事業計画の概要

学校名	大阪府立西浦支援学校
取り組む課題	生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援学校における児童・生徒、保護者の学校満足度の向上 ・ 支援学校における地域連携と外部への情報の発信 ・ 学校教育自己診断における該当項目の肯定率の向上
計画名	「知的障がいのある生徒の農福連携（ぶどう栽培における職業教育・キャリア教育）」

２．事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>２ 生徒の将来に向けた力をはぐくむ学校づくり</p> <p>（４）キャリア教育を全校一貫として実施</p> <p>（６）社会生活・職業生活に必要な力の習得をめざした職業教育の充実</p> <p>（７）農福連携による校内でのぶどう栽培の実施、及び地域の農家でのぶどう栽培実習の実施</p>
事業目標	<p>○学校敷地内にビニルハウスを建設し、体への負担が少なく高品質なぶどう生産がしやすい新手法（南大阪では初の取組み）でぶどう栽培を行い、農業大学校との共同研究として手法の効果を検証する。その中で技術の習得を促すとともに、すべての児童生徒にとって分かりやすいテキスト作成の方法を確立する。</p> <p>○ぶどうの栽培や販売などの活動を通して、小学部・中学部・高等部で一貫したキャリア教育を展開する。またシンポジウム等のチラシは本校高等部生徒が授業の一貫で作成し、キャリア教育の一環とする。</p> <p>○農家や福祉事業所、企業等に向けてシンポジウムを開催し、大阪公立大学・府立環境農林水産総合研究所・農業大学校と西浦支援学校で取り組んでいる農福連携のネットワークを広げ、本校卒業生がぶどう栽培を通して地域で雇用され活躍するための条件整備や採算性を向上させる栽培・経営手法について情報共有する。</p> <p>○ぶどう栽培や農作業に適性のある生徒の、地域農業産業への就労を実現する。</p>
整備した 設備・物品	パイプハウス、農場電気設備、レーザーカラープリンター、収穫物運搬貯蔵用カゴ、薬品保存用冷蔵庫、iPad mini（本体・防水ケース）、レーザーカラープリンタートナー、充電式ナイロンコード草刈機、摘粒鋏、ぶどう鋏ピンセット付、芽傷鋏、エクセル線、農薬、コンポスト、ホース、灌水タイマー、散水チューブ、塩ビパイプ、ブルーシート、ルートルップポット
取組みの 主担・実施者	主 担：首席 実施者：進路担当、農業担当
本年度の 取組内容	<p>①購入した摘粒鋏、農薬等の道具を使用し建設したビニルハウスでぶどう栽培を行い、新手法での栽培が身体への負担を軽減できることを確認した。また購入した灌水タイマーや充電式草刈機を活用して果樹・野菜栽培を効率化し、授業内で生徒がぶどう栽培を行う時間を確保した。</p> <p>②シンポジウムを開催して農福連携のネットワークをさらに広げ、本校卒業生がぶどう栽培をとおして地域で雇用され活躍するための条件整備や採算性を向上させる栽培・経営手法について意見交換を行った。</p>

	③学校や農家等でのぶどう栽培や農作業全般をととした小学部・中学部・高等部で一貫したキャリア教育を学校全体でまとめた。
成果の検証方法 と評価指標	<p>①ぶどう栽培実習の中で収穫までの一連の作業を 90 名以上の生徒に経験させ、その様子からテキスト作成方法と新栽培方法について検証を行い、シンポジウムで発表する。</p> <p>②シンポジウムで連携を開始した農家や福祉事業所での農作業実習を複数回実施する。</p> <p>③シンポジウムを開催する。農業や福祉に関わる専門家を招いて助言を受けるとともに、本校取組みの進捗状況を 50 名以上の参加者に対して周知する。</p> <p>○職業新聞および学校ホームページ等で農福連携の取組みを年 10 回以上情報発信する。</p> <p>○学校教育自己診断「生活、作業学習、職業など職業教育に関する授業は充実している」の保護者の肯定的回答の割合を 85%以上にする[R 4 :80%]</p>
自己評価	<p>①ぶどう栽培実習の中で収穫までの一連の作業を 108 人の生徒に経験させることができた。またテキスト作成方法と新栽培方法について検証を行い、農福連携の取組みの方向性と併せて第 2 回シンポジウムで発表した。……………【○】</p> <p>②第 1 回シンポジウムで連携を開始した農家や福祉事業所での農作業実習をのべ 14 回実施した。……………【◎】</p> <p>③第 2 回シンポジウムを開催し、農業や福祉に関わる専門家を招いて助言を受けるとともに、本校の取組みの進捗状況を 50 人以上の参加者に対して周知することができた。……………【○】</p> <p>○職業新聞および学校ホームページ等で農福連携の取り組みを年 16 回発信した。…【◎】</p> <p>○学校教育自己診断「生活、作業学習、職業などキャリア発達を促す授業が充実している」87%……………【○】</p>
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう栽培や農作業全般をととしたキャリア教育の計画がようやく出来上がったところで、その実践については当初の計画から遅れている。今年度は本事業の取組みが高等部のみで留まってしまい、小学部・中学部まで広げることができなかった。 ・高等部農場で育ててきたぶどう樹木を他の場所へ植え替え、小・中学部児童生徒にも栽培に参画しやすい環境を整える。また来校者にも見てもらえる位置で栽培することで、ぶどうを学校のシンボルにする取組みを進める。

3. 事業費報告

今年度事業費総額	423,854	円
----------	---------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
1 報償費	1	シンポジウム講師料（基調講演兼パネラー）	¥60,000	1	60,000
	2	シンポジウム講師料（パネラー）	¥10,000	2	20,000
	3				
				小計	80,000
2 旅費	1	シンポジウム講師旅費	¥30,960	1	30,960
	2				
				小計	30,960
3 消耗需用費	1	トナーカートリッジ（3色）	¥7,150	3	21,450
	2	トナーカートリッジ（黒）	¥6,600	1	6,600
	3	充電式ナイロンコード草刈機	¥25,300	2	50,600
	4	先丸ぶどう鋏	¥1,713	5	8,565
	5	鋏ケース	¥683	5	3,415
	6	フルメット液剤	¥2,519	2	5,038
	7	ジベレリン錠剤	¥1,445	2	2,890
	8	アグレプト液剤	¥956	3	2,868
	9	ジマンダイセン水和剤	¥1,739	2	3,478
	10	モスピラン顆粒水溶剤	¥1,890	2	3,780
	11	充電式草刈り機	¥24,783	2	49,566
	12	大型コンポスト	¥10,660	1	10,660
	13	灌水タイマー	¥4,948	4	19,791
	14	大きいブルーシート	¥10,094	1	10,094
	15	小さいブルーシート	¥1,861	2	3,722
	16	散水チューブ	¥1,590	10	15,900
	17	塩ビパイプ	¥314	16	5,024
	18	ぶどう鋏ピンセット付き	¥1,569	3	4,707
	19	芽キズ鋏	¥1,681	2	3,362
	20	先丸ぶどう鋏	¥1,520	5	7,600
	21	エクセル線	¥7,023	1	7,023
	22	ホース	¥5,500	1	5,500
	23	ルートラップポット	¥12,983	1	12,983
	24	青果鋏先丸長刃ガード付き	¥1,958	1	1,958
				小計	266,574
7 使用料 及び賃借料	1	シンポジウム会場使用料	¥46,320	1	46,320
	2				
				小計	46,320
8 備品購入費	1				
	2				
				小計	0
9 工事請負費	1				
	2				
				小計	0
10 負担金・補助 及び交付金	1				
	2				
				小計	0
				合計	423,854